◇特別委員会審査◇ 認定第1号 一般会計決算審査

◆**財政経営課**

問 法人事業税交付金とは何か。

答 地方法人特別税及び地方法人特別贈与税の廃止に伴い、創設された都道府県から市町村への交付金。

◆**地域政策課**

問 地域おこし協力隊について、令和2年度の成果は。

答 45件の事業者紹介を行い、求人サイト採用件数では12名。

◆**農業政策課**

問 森林環境贈与税については、どの様に使うことを示唆されての歳入なのか。

答 間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及び、その促進に関する費用に充てなければならないとされている。

◆**建設管理課**

問 国庫支出金の道路メンテナンスとあるが。

答 橋梁点検や橋補修のこと。

◆**農業委員会**

問 機構集積により農業者への利便性は。

答 農地を適正に効率的に使用できる。

◆**総務課**

問 交通安全対策において、自治公民館より要望が出されているが。

答 カーブミラー、防犯灯の設置を行い、箇所によってはつけられない場所もあるため、その時は公民館長と話し合い、ご理解して頂く場合もある。

◆**上下水道課**

問 宮崎県合併浄化槽普及促進協議会負担金とあるが、具体的内容は。

答 県内26市町村が会員で、宮崎市に事務局を置き、県や国への合併処理促進の要望活動や、合併浄化槽設置の予算枠取り、またラジオ等で啓発活動を行っている。

◆**健康保険課**

問 幼児のフッ素塗布、遊びの教室、言葉の教室の成果は。

答 幼児フッ化物塗布事業については、虫歯予防を目的としたフッ化物塗布を定期的に受けることができる体制を構築。遊びの教室と言葉の教室については、未就園児の集団遊びの場を定期的に設けることにより、園児の発達支援、保護者の育児不安解消につながった。

◆**福祉課**

問 保育所等感染症対策とあるが、どのような指導を行ってきたのか。

答 保育所等の児童はまだ幼く、マスクの着用がなかなかできないため、石鹸による手洗い、手指消毒の実践習慣を進めている。

◆**社会教育課**

問 図書購入に充ててほしいと寄附があったようだが。

答 直ぐに図書を購入させていただき、寄附者の方へはそのリストとお礼を一緒に送っている。

◆**教育総務課**

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、先生や生徒の精神的ケアはどうしてきたのか。

答 高鍋町立学校における新型コロナウイルス感染症対策チェックリストを作成し、現在各学校で対応している。

◇特別委員会審査◇ 認定第2号～第10号・補正予算

令和2年度決算

◆**健康保険課**

高鍋町国民健康保険特別会計決算について

問 資格マスタ整備負担金とはどういう内容か。

答 現在国保連合会にある資格マスタでは、システムに対応しないため、整備改修する負担金であり、各市町村の被保険者で按分して算出されている負担金である。

高鍋町後期高齢者医療特別会計決算について

問 疾病の特徴的な傾向は何か。

答 糖尿病、脂質異常、高血圧である。

高鍋町介護認定審査会特別会計決算について

問 1回の審査会にかかる時間は、どれくらいか。

答 審査件数にもよるが、60分ほど。

高鍋町介護保険特別会計決算について

問 予防することでどのくらいの人が重症化せずに済んだのか。

答 いきいき百歳体操教室や元気アップ教室など取り組んでいることで、県の介護認定率が16・2パーセントに対し、町の認定率は14パーセントと、低い数値を維持できていると考えている。

◆**地域政策課**

工業用地造成事業特別会計決算について

問 売払い収入額は。

答 平成30年度不動産売払い収入額は、17億9516万5千円で、内訳は土地が16億6560万5千円、建物が1億2960万円。

◆**上下水道課**

高鍋町水道事業会計決算について

問 給水件数増の要因は。

答 アパートが数件建ったことが一番の要因。

高鍋町下水道事業特別会計決算について

問 固定資産調査等の業務委託はなぜ必要なのか。

答 下水道事業を企業会計に移行する際に、現在の下水道事業のすべての資産を数値化し、管理する必要があるため。

令和3年度補正予算

◆**健康保険課**

高鍋町介護保険特別会計補正予算について

問 現在の基金残高は。また介護保険料の水準は26市町村中何番目か。

答 基金残高は、3億7435万円。26市町村中20番目という低い水準。

特別委員会審査の様子